

ブナの森から始まる「水物語」

母なる樹、ブナ。母なる森、ブナの森……。
降り注ぐ雨や雪を受けとめ、ゆっくりと地面に浸透させることで、
枯れることのない清き水を里にもたらしめます。
森と大地に磨かれた水は、大自然の営みの中からうまれた「生命の水」。
山・里・海の食材はもちろん、自然景観、観光資源など
「大山の恵み」すべてを、大山の水が育んでいます。

感動とは、自然の、そしてその一部である人間の、生命の本質に触れること。
大山のブナの森……。そこから始まる「水物語」を巡っていけば、
さまざまな生命との出会いや発見の中から、きっと初めての自分を知り、
大きな感動があふれる旅となるに違いありません。



むきぱんだが
大山をご案内
しゅっ!!



むきぱんだ

鳥取県大山町の弥生式住居跡「妻木晩田(むきばん
だ)遺跡」に由来する名前の公式マスコットキャラ
クター。「むいても、むいても、むきぱんだ〜♪」が
キャッチフレーズ

国立公園 大山

大山(だいせん)は、NHK「日本名峰ランキング」で、富士山、槍ヶ岳に続
き第3位。標高1729m、別名「伯耆富士(ほうきふじ)」とも呼ばれています。
昭和11(1936)年に、国立公園に指定され、その後、蒜山、隠岐の島、島根
半島、三瓶山が追加指定されて「大山隠岐国立公園」となりました。